

加賀藩 遊んで学ぶすごろく

金沢で新春企画展、20日まで

前田土佐守家に伝わる天神画像やすごろくなど新春企画展「天神信仰と絵すごろく」が、金沢市片町2丁目の前田土佐守家資料館で



さまざまな絵すごろくが並ぶ一金沢市片町2丁目

開かれている。20日まで。加賀藩の藩祖前田利家は菅原道真を先祖として崇拝し、領内では年末から正月、道真を描いた天神画像や道真をまつるミニチュア

の天神堂を飾る風習が広まった。企画展では、藩主家の分家筋にあたる前田土佐守家の天神画像や天神堂、後陽成天皇の筆とされる「天神名号」の掛け軸などが展示されている。

短信

正月の遊びとして江戸時代から盛んだったすごろくは、版画の技術の発達とともに全国に普及した。土佐守家伝来の「甲冑着用備六」は甲冑や武器の付け方を絵で順番に解説している。「加賀藩職制双六」は「新番」から始まり、組外、御前奉行、御納戸奉行、御城代などを経て「御用番」で上がる。加賀藩内にどんな役目があり、どんな序列だったかを、遊びながら学べる。

一般300円、65歳以上

200円、高校生以下無料。問い合わせは資料館(076・22033・1561)へ。(種口大)

◆118番の日 18日10〜16時、七尾市御成町のパトリア7尾3階。七尾海上保安部(0767・52・9118)主催。1月18日に合わせ、海上における緊急通報用電話番号「118」の重要性を周知する。巡視船模型の展示や子ども用の制服の試着などのイベントもある。

◆赤十字救急法の講習 19日9〜13時、金沢市鞍月東2丁目の日本赤十字社県支部講習室。人工呼吸やAEDの使い方、けがの応急処置などについて学ぶ。対象は15歳以上、定員35人、参加費1500円。申し込みは18日17時までに支部(076・2339・3880)へ。

井上 道義の 未来だった今より

ヨナカの死



いしかわスクエア

明けましておめでとう。飛花落葉のヨノナカと言われるが、先日、「マヒル」君とつがいったペットの雌アヒルの「ヨナカ」が突然老衰で死んだ。僕は演奏旅行中でまたもや死に目に会えなかった。

またもやと言うのは、子どもの頃に飼っていた黒のミニチュアシープドッグの「チビ」が、僕が閉めるのをサボった門からヒョイと走り出た途端、自動車にぶつけられ、その時は軽く「キャン」と言っただけだったのに一日たったら突然ゼイゼイ言い出して目の前でバタンと死んだのを見た以外、昔飼っていた他の犬もアヒルも、父も母も、父の母も母の母も、演奏旅行などでほとんど死に目に会っていない。「これじゃ自分の死に目にも会えない」と軽口をたたく今の僕だが、自分が死ぬというのは悲しいことなのだろうか？

生命は有限だ。家内が溺愛している白い犬「ブランちゃん」

は今、13歳。今も足腰もしっかりして元気だが、あの犬がいなくなったら彼女はどんなっちゃうのか心配。彼女の癒やしは僕でなくブランちゃんだから。指揮したり、作曲をしたりするのも、人間として生きている証拠を表現したい行為。だがいつかは終わるだろう。この文や演奏の録音などさえ、いつかは風と共に消えるだろう。

アヒルは庭に埋めてもらった。愛する人も庭に埋めることを許して欲しい。我が国の無個性な墓地は嫌いだ。例えばイタリアミラノの共同墓地はほんとに楽しい所だ。あそこは人々の一生を想像出来る多くの彫像達や小さな家のような墓で野外博物館のようなのだ。いつ消えるかもしれない一生という作品たちだ。音楽作品は演奏で生まれる。去りゆく時とともに、今年も思い切り生きて行こう。

(オーケストラ・アンサンブル) 金沢音楽監督